

NEWS RELEASE

**山形県内先駆け、認定こども園併設のインクルーシブ型児童発達支援施設
「educareぱらす」を2026年8月開設**

～天童市の目指す“乳幼児期から就学期に向けた切れ目のない子育て支援”を民間から推進～

学校法人東谷学園は、2026年8月1日より、山形県内でも先進的な取り組みとなるインクルーシブ型(※)児童発達支援施設「educareぱらす」をオープンいたします。

(※)インクルーシブ型：園内に児童発達支援施設が併設され、発達の特徴がある子ども共に生活する環境。



■開設の背景

学校法人東谷学園は、時代に合わせた保育環境の刷新に挑戦し続けてきました。

自然豊かな環境を生かした「プロジェクト型の探究教育」や、子どもが自ら選びとことん遊び込む「子ども主体の保育」を深化。

日常の生活を最優先にした行事スタイルへと変革し、子どもたちがのびのびと過ごせる土台を築いてまいりました。

しかし、時代の変化とともに、私たちは新たな地域課題に直面することになります。

それが、発達に特性のある子どもたちの増加と、我が子の育ちに不安や困り感を抱える保護者の孤立、そして現場で葛藤する保育士たちの姿でした。

学園ではこれまでも、独自に臨床心理士を招聘し、子どもや保護者、職員のケアに努めてきましたが、保育現場の自助努力だけでは、十分な支援やケアを行うことが難しいことを肌で感じてきました。

「この課題から目を背けず、もっと子どもたち一人ひとりに寄り添いたい」

その強い決意から、私たちは専門的な支援が行えるよう、2025年に児童発達支援事業を開始。

1施設目で発達支援の専門的な知見を積み上げ、この度、天童市が目指す「障がい児の地域社会への参加・包容(インクルージョン)」を最高のかたちで実現するため、こども園併設型の「educareぱらす」を開設いたします。

■「educareぶらす」開設の社会的意義

1. 天童市が掲げる「インクルージョン推進体制」を民間から強力に後押し

天童市の計画において掲げられているのが「障がい児の地域社会への参加・包容(インクルージョン)の推進体制整備」です。

「educareぶらす」は、認定こども園(東谷学園)の敷地内に併設されるという特性を最大限に活かし、あゆみのペースや得意・苦手がそれぞれ異なる子どもたちが、日常の生活を通じて学び合う場を目指しています。定型的な発達を歩む子も、発達にグラデーションのある子も、共に遊び、食べ、体験を重ねる中で、自発性と他者への思いやりを自然と身につけ、分けるのではなく、共に過ごす『小さな社会』を目指してまいります。

これにより、行政が目指すインクルージョン社会のあり方を、民間専門施設の立場から具体的に体现し、市の政策目標の達成に直接貢献します。

2. 「こども園併設」による、シームレス(途切れのない)な地域社会参加の実現

従来の児童発達支援は、地域の保育園や幼稚園とは隔離された単独の施設で行われることが多く、真の「地域社会への包容(インクルージョン)」には高いハードルがありました。

本施設はこども園と緊密に連携することで、子どもたちが支援の場」と「集団生活(地域社会)の場」をスムーズに行き来できる環境を提供します。

子どもの孤立を防ぎ、幼少期から自然な形で地域社会へ参加・包容される土台をつくります。

3. 保護者の就労支援と送迎負担の解消による「家族丸ごとの包容」

障がい児のインクルージョン(社会包容)を進める上では、子ども本人だけでなく、その家族が地域社会から孤立しないための支援も不可欠です。

施設が併設することで、保護者は「こども園への送迎」のみで専門的な支援と長時間の預かり(就労継続)を両立できるようになります。

これまでの通所型施設では難しかった「保護者の就労と子どもの発達支援の共立」を実現することで、家族全体が地域で安心して暮らし続けられる体制をサポートします。

出典元:<https://www.city.tendo.yamagata.jp/municipal/shisaku/shougaifukushikeikaku.pdf>

■「educareぶらす」3つの特徴

1. こども園の「ゆとりある環境」をフル活用した支援空間

既存の認定こども園が持つ広々とした敷地や、開放的な施設環境を最大限に活用。

のびのびと身体を動かせる安全な空間を確保すると同時に、園児たちとの日常的な交流を通じ、多様な関わりの中で自然に社会性を身につけます。

2. 「長時間預かり」と「食育」で暮らし全体をサポート

食事や午睡も含めた長時間の預かりに対応し、保護者の就労を支えます。

また、日々の畑や食体験を通じた「食育」にも注力し、無理なく「食べてみたい」という気持ちを育みながら、暮らし全体を見据えた支援につなげます。

3. 専門職チームが育む「一生モノの生きる力」

作業療法士や公認心理師がチームとなり、園での日常を多面的に支援。

読み書きや計算ができること以上に、将来社会に出たときに自分らしく輝ける「助けてと言える力」

「自分で選ぶ力」「切り替える力」を、日々の成功体験の中で築いていきます。

■ 法人概要

法人名:学校法人東谷学園(1957年創立/創立69年)

運営施設:天童市内で6施設

(天童東幼稚園、天童しぜん幼稚園、あそか保育園、児童発達支援施設「educareつながり」、子育て支援センター「つながり」、子育て支援センター「おやこカフェ もぐもぐ」)

規模:児童222名、職員84名

本件に関するお問い合わせ

学校法人東谷学園 本部 広報 渡部(ワタナベ)

〒994-0056 山形県天童市大字干布字奈良沢728

MAIL: koho@higashitanigakuen.com